

「英語ディベート指導の初心者卒業する」

担当： 小林良裕
豊島岡女子学園中学高等学校 教諭
東京学芸大学大学院 博士課程 在籍

*参加を希望される方には、事前に、ご勤務校で使われている「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「論理・表現Ⅰ」の教科書と、3学期で用いる予定のレッスン番号をお尋ねさせていただきます（それらの題材を踏まえた内容を用意するため）。

■【講習のゴール】

英語ディベートについて、多少の知識を前提に、

- ① [授業] 検定教科書を用いた授業に、英語ディベート的内容を取り入れる指導例、
- ② [部活] 初級から中級までを念頭に、教員の手を最低限にした部活の指導例、
- ③ [LHR など] 英語ディベートで学んだ内容を、英語の授業や部活以外で応用させる指導例、

の紹介を通して、3学期以降の英語ディベート指導をより充実させる方法を探ることが目的です。

■【使用教材】（それぞれ参加人数分、こちらで用意して郵送します）

- ・冊子「AIDE Book 3 授業で教える英語ディベート」
 - ・冊子「AIDE Book 5 日本語 即興型ディベート」
 - ・小冊子「AIDE Book 6 日常へのディベートスキルの応用」
- （その他、上記冊子の pdf ファイルを含め、ダウンロード可能な教材）

■【指導の内容】（合計4時間、50分×4コマの授業時間でイメージ）

*以下の内容は多少変更が加えられる可能性があります

1 時間目【ディベートについての基礎知識の確認】

- 1) 事例紹介：講師の勤務校での指導内容
- 2) 英語ディベートで最低限必要なスキル・知識の確認
- 3) 英語ディベートで学んだスキルを用いたロングホームルームの活動例

2 時間目【教科書の指導に対応させる】

- 1) スピーキング活動例
- 2) ライティング活動例

3) 立論スピーチ・質疑応答

*参加者の方がご勤務校で使われている検定教科書（の3学期の範囲）を踏まえて修正した、Book3の使用例を紹介いたします。

3時間目 【教員の手間を出来るだけかけない部活指導】

- 1) 初心者対策「英語が話せないけど、英語ディベートしたいです」
 - スピーキング練習冊子、日記冊子
 - 「Write & Improve」やオンライン英会話といった、外部教材
 - 「Kahoot!」のような英語クイズによる背景知識の提供
- 2) 中級者対策「対戦相手がいないので、困ってます」
 - 試合動画を見て、そのうちの1人になる（LOと Reply の練習）
- 3) 準備型対策「準備型の大会に出たいんですけども」
 - [資料調べ] Jstage
 - [原稿づくり] Deep L を使った AI 翻訳による下作業
 - 国語の先生と社会の先生にやってもらう
 - 学校の授業内の課題にしてしまう
- 4) 「大会がない」「大会で勝てない」と生徒が言ってきたら
 - 生徒に大会を開催させる

4時間目 【授業への応用・部活での取り組み】

- 1) 大会で結果を残せなかった生徒のケア
 - 四技能検定と「大会を開いた」という活動実績作り
- 2) 指導結果の検証を求める他の先生への対応
 - 英語能力の測定（外部検定試験、批判的思考テスト、学校独自の試験）
 - 「英語ディベート指導についてのアンケート」を実施しろと言われたら
- 3) 英語ディベートに関する実証的研究の例（どんな人が何を調べているのか）

以上が、英語ディベート講習会「英語ディベート指導の初心者を卒業する」の内容予定になります。